

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	sessile serrated lesion (SSL) および異型を伴う SSL (SSLD) の臨床病理学的特徴と年次的変遷：当院 10 年間の後方視的研究 (B25-129)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部消化器内科学 診療講師 別當朋広
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	ありません。
本研究の概要・背景・目的	近年、大腸癌の約 15～30%が「鋸歯状経路」という経路で発生すると考えられています。この経路の前駆病変である鋸歯状病変は、従来の腺腫とは異なり、見逃されやすい形態をしています。 特に、前癌病変を伴う鋸歯状病変や、さらに進行し癌化した鋸歯状病変は急速に増大する可能性があり、正確な診断と治療戦略の構築が求められています。 本研究では、当院で内視鏡的に切除された鋸歯状病変の症例を対象に、診療記録を用いて以下を調査します： 鋸歯状病変の発生頻度と年次推移 病変の部位やサイズ、形態などの臨床的特徴 病理診断との関連性 これらの分析を通じて進行癌の予防や、よりの確な治療判断に貢献することを目指します。
調査データ 該当期間	2015 年 1 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間中に、当院で大腸鋸歯状病変 (SSL、SSLD、SSL-cancer) と診断され、内視鏡的または外科的切除を受けた患者さんです。
研究の方法 (使用する試料等)	2015 年 1 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。臨床検体や生物試料の新規収集は行いません。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、消化器内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  <b>所属・職位：医学部消化器内科学 診療講師</b>  <b>担当者：別當朋広（ベツトウトモヒロ）</b>  <b>電話：042 - 778-8111(代表)</b></p>
<p>備考</p>	<p>特になし</p>